富士市立神戸小学校

後期学校評価の報告

令和３年３月１日

燃える神戸っ子

学校教育目標
「つながろう　やりぬこう」

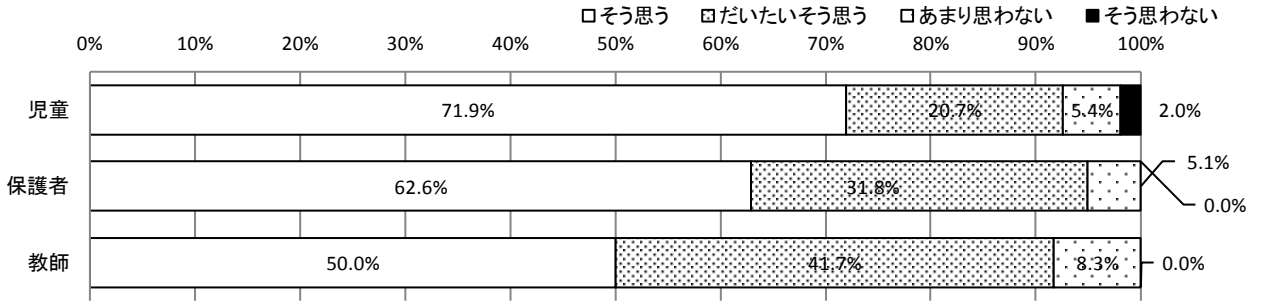
令和2年度重点目標
「あいさついっぱい　やさしさいっぱい」

後期学校評価アンケートの結果の報告をします。

後期学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。
今年度はコロナ禍の影響を受けて例年と大きく異なる1年となりました。様々な制限のある中でしたが、子どもたちは精一杯学校での活動に取り組み、日々成長をしてくれたと感じています。ご家庭のご理解とご協力に改めて感謝申し上げます。
今回のアンケートでも保護者の皆様からたくさんの建設的なご意見、学校への励ましやいくつかのお叱りのお言葉をいただきました。皆様の思いを受け、今後の教育活動をさらに充実したものにするために、来年度も引き続き諸活動の改善に努めたいと思います。
今後とも本校の教育活動へのご支援をよろしくお願いします。

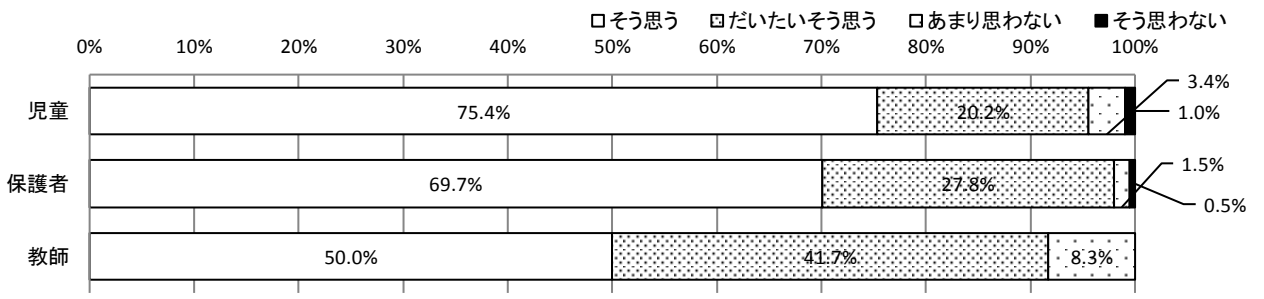
※　各グラフのタイトルは児童へのアンケートの質問文で標記しています。
皆様のご協力で無回答はほぼありませんでしたので、結果を分かりやすく表示するために一部のアンケートを除いて無解答は標記していません。そのため、グラフの数値の合計が100%にならないものもあります。

１　学校生活が楽しい。



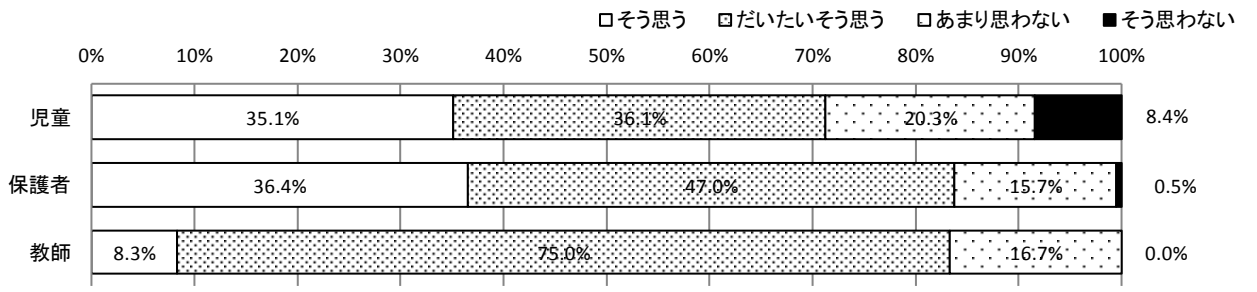
コロナ禍により行事の縮小や変更があったり、授業ではグループ活動が制限されるなど、ストレスも多かったと思います。できる限りの工夫をして教育活動を進めてきました。そのような中、多くの児童、保護者から肯定的なご意見をいただけたことを嬉しく思います。すべての児童、保護者が楽しいと思えるように足りない部分を考え、より良い学校生活が送れるよう、今後も一人一人の子どもに寄り添った支援を心掛けて教育活動を進めていきます。

２　みんなで何かをするのが楽しい。



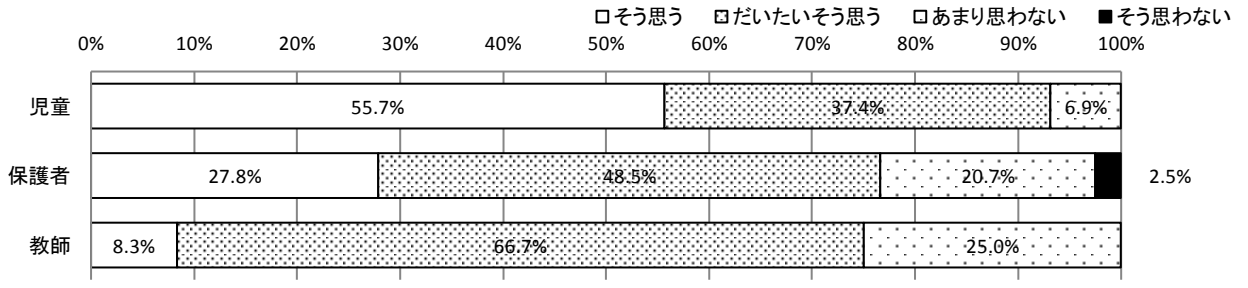
後期になっても3密回避のために集会やグループ活動が大きく制限されてきました。そんな中、みんなで取り組むことの楽しさを感じている児童、保護者が100％近くいることは嬉しいことです。
この状況に甘んじることなく、一層の学びを保証していきたいと思います。一方、「あまりそう思わない」子の思いも理解して活動を計画していきたいと思います。

３　自分の考えや意見をよく発表している。



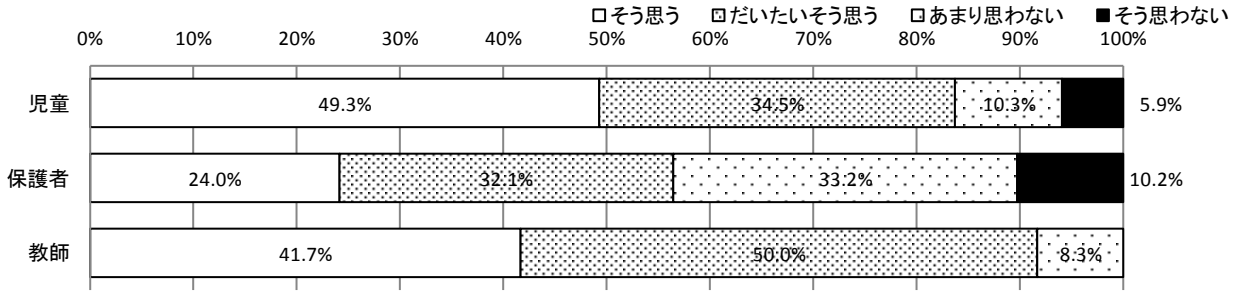
「自分の思いを表現できてきている」との答えが多い一方、「そう思わない」と感じている子どもが約3割います。これは、単純な答えであれば手を挙げられるが、自分の考えを出すことに自信が持てないと感じる児童がいることが一因だと考えます。
安心して発表できる授業づくり、学級づくりを進めていきます。

４　友達の考えや意見をしっかり聞いている。



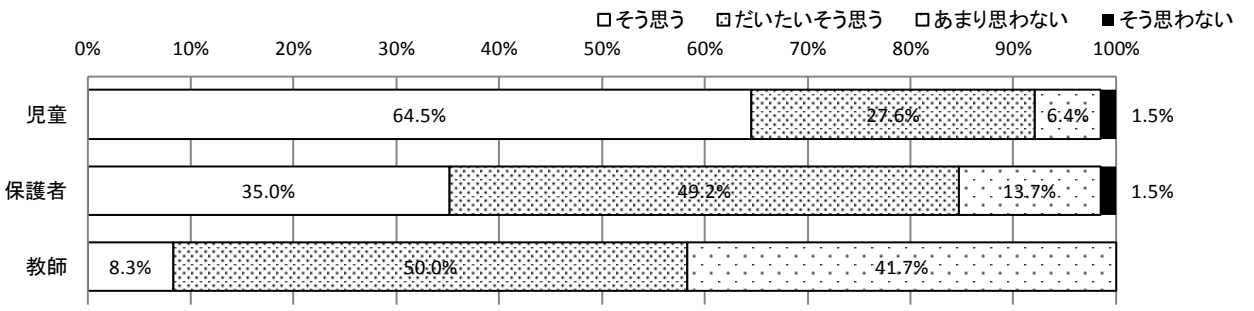
身体を向けて聞ける子も増えてきており、子どもたちの「しっかり話を聞こうという」意識は高くなっています。一方、慣れてきたことで意識が低下してきたり、聞く形はできていても、十分理解できていない子も多いと感じています。これが、保護者や職員が「聞いていない」と感じている一因だと考えます。
今後は、「聞き方(聴き方)」を身に付けることに加えて、聞いたことに対して自分の考え持ち、さらに考えを深めていけるような授業の工夫をしていきたいと考えます。

５　図書室へ行くを楽しみにしており、本をたくさん読んでいる。



今年度は朝読書や読み聞かせの回数は減りましたが、図書委員会や図書館司書の活動を通して読書を推奨をしたことで、進んで本を借りる子や昼休みに本を読みに行く子が増えています。
一方、本が好きな子とそうでない子が二極化しているのを感じます。意図的に図書室へ行く機会を増やしたり、何を読めばいいか分からないという子どもに的確にアドバイスするなど本の良さを発信していきます。

６ 学校でも地域でも進んであいさつをしている。

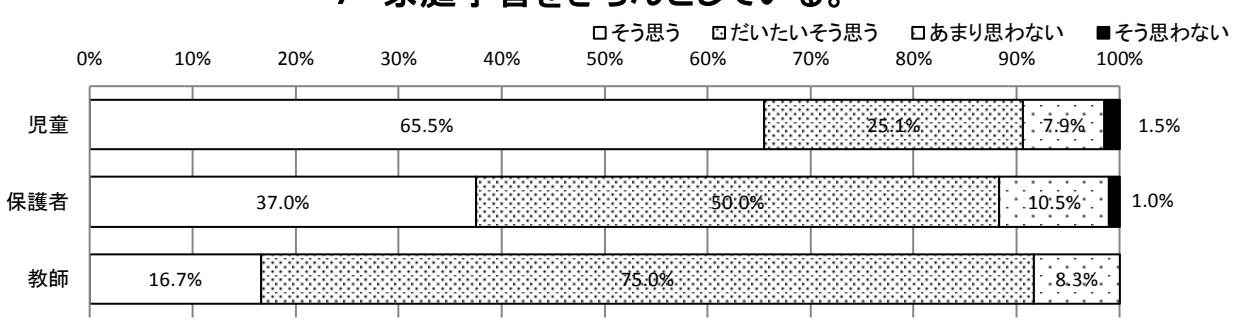


子ども、保護者共にも80～90%と肯定的な意見が多いのは嬉しいことです。運営委員会(児童会)で「あいさつ」について取り組んだことが成果だと思います。校内での「あいさつ」は一定の成果が出ています。

反面、「自分からあいさつをする子が少ない。」「あいさつをしても返ってこない。」との厳しいご意見もいただいています。

引き続き、「自分から明るく元気なあいさつ」ができるよう取り組んでいきます。

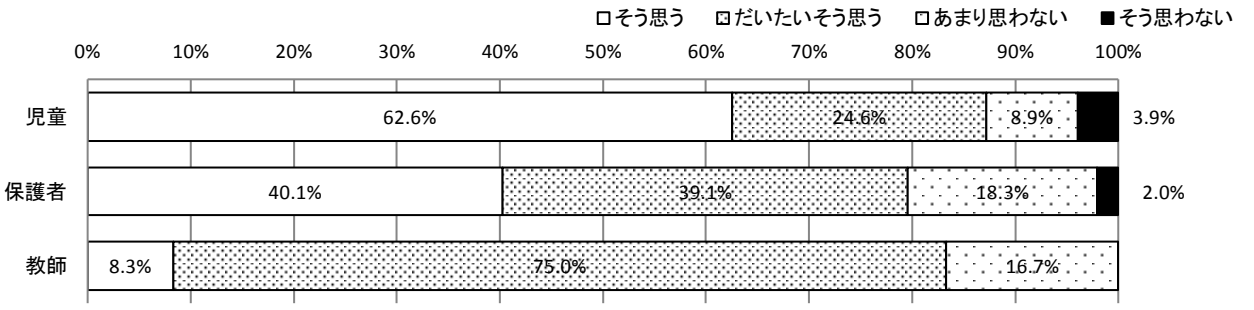
７ 家庭学習をきちんとしている。



大半の子どもが宿題はきちんとやってきています。しかし、宿題＋αとなると、子どもが「自分はやっている。」と思っている一方で、物足りなく感じられる家庭もあるようです。また、学び方にもムラがあり、雑な取り組みの子もいます。

安定した学びの仕方を身に付けることが大切であると感じます。

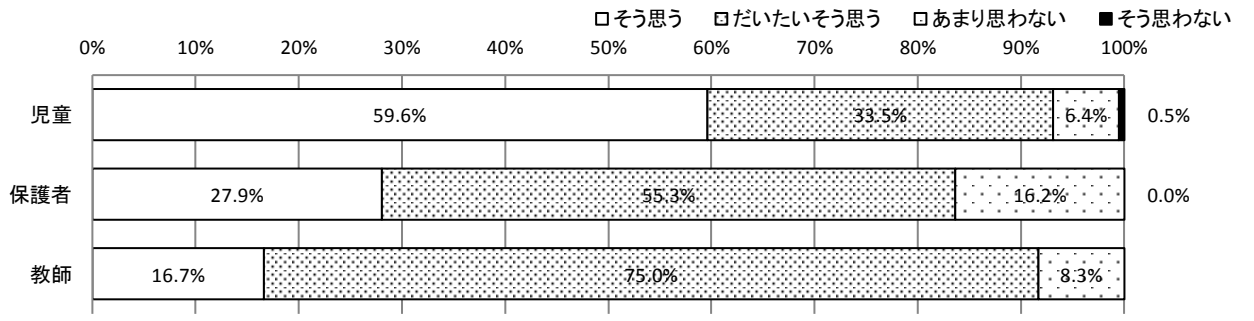
８ 目標をもって運動をしたり、外で元気よく遊んだりしてる。



コロナ禍で体育や休み時間など制約が多い中でしたが、子どもたちは肯定的な答えが多くなっています。これは、コロナ禍でもスポーツフェスティバルや持久走記録会を行ったことや、夏休み明けより、金曜日の昼休みをロングにしたことなどによるものだと思います。なわとびを頑張った子もたくさんいます。

コロナの対策を抜かりなくしながら、子どもたちが元気に活動できるよう取り組んでいきます。

９「あいさついっぱいやさしさいっぱい」な学校になるよう努力している。

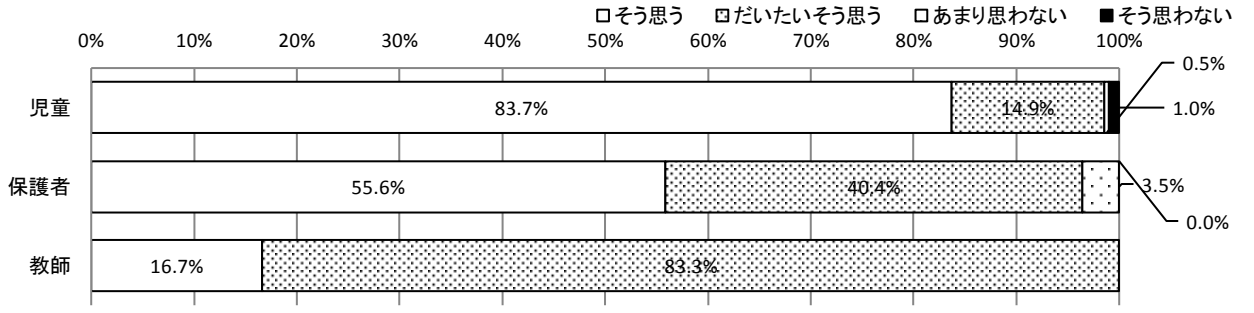


今年度の重点目標「あいさついっぱいやさしさいっぱい」が子どもたちによく浸透しており、学校生活の様々な場面でこの言葉が聞かれる機会が多く、意識しているのを感じます。

特にあいさつについては昨年よりも向上しているのを実感しています。

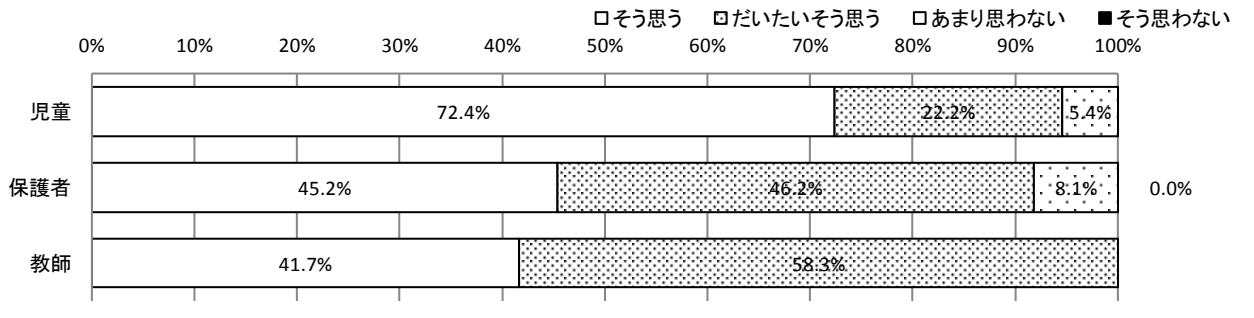
来年度もこの目標は継続します。引き続き、「あいさつ」「やさしさ」、他者への配慮ができるように取り組んでいきます。

10 先生はよく話を聞いてくれる。



多くの子どもたちや保護者の方に肯定的な意見をいただいたことを嬉しく思います。今後も地道に一人一人の子どもたちと向き合い、子どもたちの思いに寄り添える支援を推進していきます。一方、「思わない」と回答している子ども、保護者がいることを真摯に受け止め、日々改善に努めていきたいと思います。

11 先生は自分ががんばったことをよくほめてくれる。

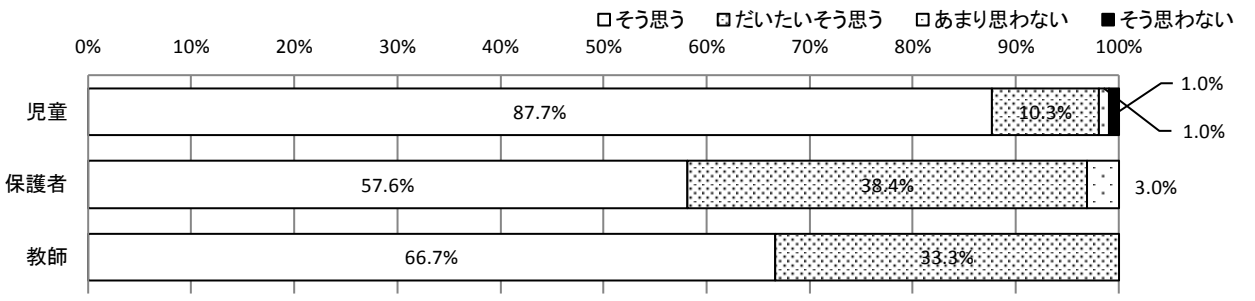


様々な行事や活動が中止、縮小される中で、子どもたち一人一人の活躍を見つけるように努力してきました。また、生活カードのコメントなどを通じて頑張りを保護者に伝えられるよう努めてきました。このような取り組みに一定の評価をいただけたと感じています。

しかし、「認められていない」と感じている子ども、保護者がいることを肝に銘じていきたいと思います。

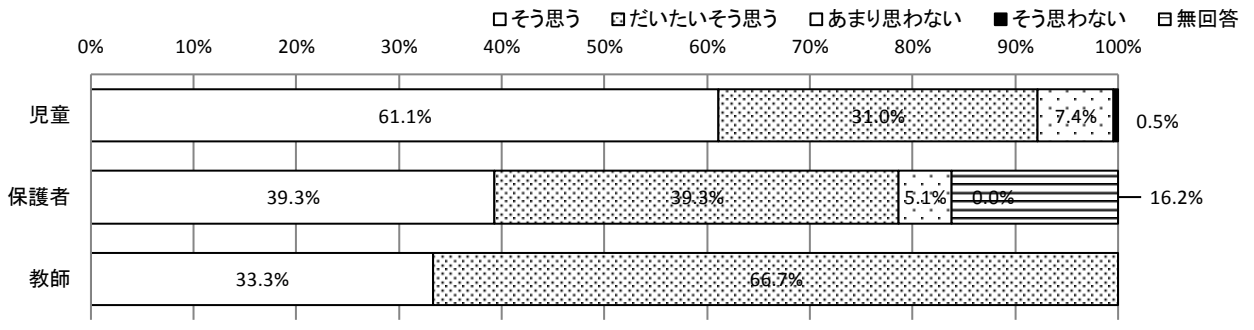
また、ほめる時は具体的に何が良かったのか伝えるように意識していきたいと思います。

12　先生は学校で安全にすごせるように気をつけている。



「常に手洗いや密を避けるよう配慮する。」「怪我が想定される場面では、事前に声掛けをする。」など、子どもたちが安心、安全に学校生活を送ることができるよう、全職員で心掛けたことで、生活面でも、授業面でも大きな事故や怪我なくできたことが成果だと考えています。

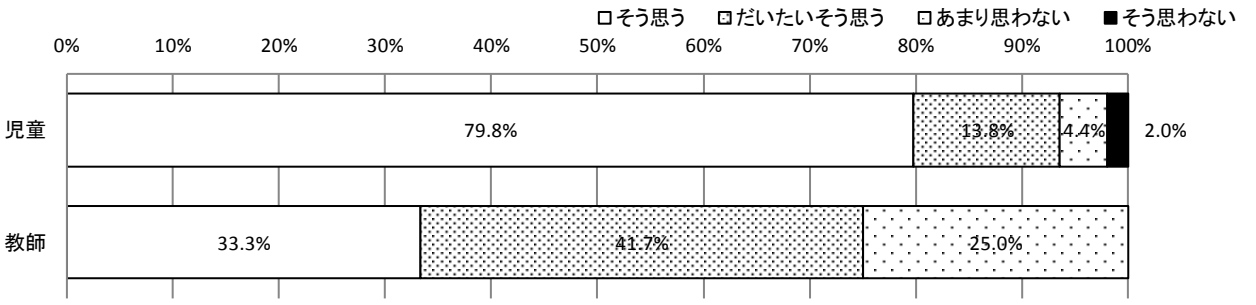
13　授業は楽しくわかりやすい。



9割以上の子どもたちが授業に前向きな答えをしています。「楽しい」というのは、できるようになったり、初めて知ったりするなど、「わかった」と実感できた時です。「わかった」という場面を数多く設定できるよう、授業改善を進めます。

子どもの意見と保護者の意見に大きな差異があるのは学校の様子が保護者にきちんと届いていなかったことが原因であると考えます。より一層情報発信に努めます。

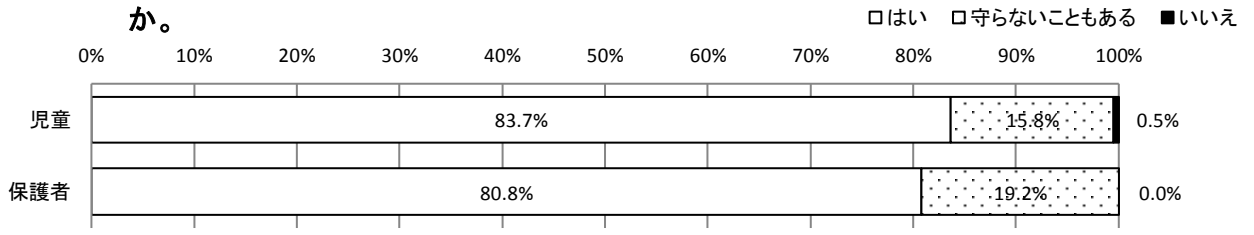
14　授業ではICT機器（ﾊﾟｿｺﾝやｲﾝﾀｰﾈｯﾄなど）が活用されている。



GIGAスクール構想により、今までの電子黒板やPC室に加え、本校にも児童用タブレットが配備されました。これらのICT機器を有効に活用することによって、子どもたちの学びをより一層は広げて行きたいと考えます。次年度は、ICTを活用した授業改善により一層努めていきます。

ご家庭においてもネットを使うことの怖さやマナーなどのご指導をよろしくお願いします。

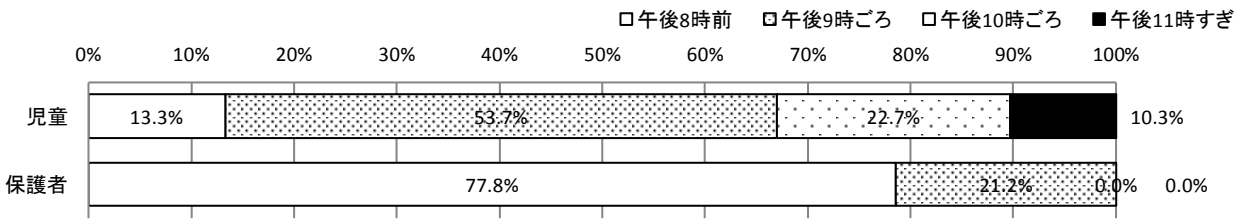
15　自転車の乗り方、友だちの家での過ごし方等の学校のきまりを守っていますか。



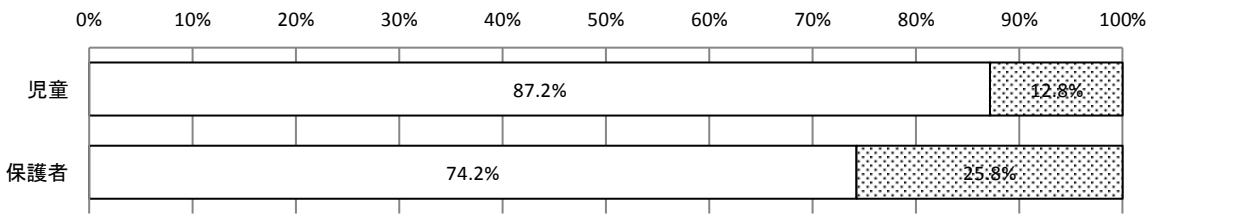
ほぼ100％の子どもがきまりを守っていると回答していますが、引き続き、規範意識が向上するよう諸活動を進めます。

一方、放課後の校外でのトラブルや地域からのお叱りを受けることがあります。ご家庭での公共の場でのマナーや友達との遊び方について指導に加えて、学校でも継続的な指導をしていきます。

16　毎日、何時ごろねていますか。



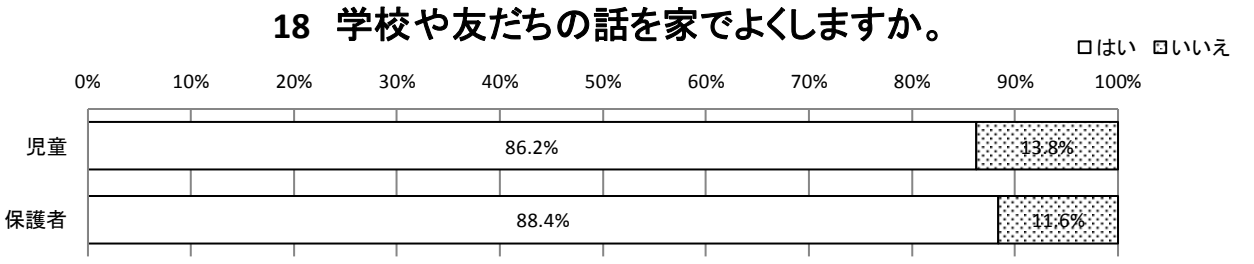
17　朝ごはんをバランスよく食べていますか。



充実した学校生活を送るためには、規則正しい生活習慣と健康な心身がベースとなります。

十分な睡眠や朝食の摂取は気持ちよく1日をスタートさせるためにとても重要です。そのためには、規則正しい生活習慣が不可欠です。

18　学校や友だちの話を家でよくしますか。



8割以上の子ども、保護者が家庭で話す時間があることに安心しました。良いことも悪いことも保護者に知ってもらいたいと思います。学校のことを家庭でもよく話すようになってくれることは、いじめの早期発見の手段の一つになります。

お子さんとの話で気になることがありましたら、いつでも学校までお知らせください。

【保護者の皆様からのご意見】 ※抜粋

・いつもありがとうございます。学校が楽しいようで安心しています。このまま続けていってください。

・家庭と学校の様子を理解したり、家での様子、学校での様子を情報交換することで、家で教えないといけない事、集団の中で学ぶ事（学校での事）など子どもを交えて私たちも成長できるかと思います。神戸小は人数が少ないので細やかな配慮して頂けて本当にいいと思います。いつもありがとうございます。

・学校での出来事を毎日少しでも教えてくれるので家でもその事で話をすることができます。そのため、とっても安心して学校に送り出すことができています。ありがとうございます。

・学校での友だち関係でトラブルがあった時、先生がいろいろと対応してくれ、しっかりと連絡もしてくれて、とても安心しました。授業もしっかりと追い付いていて（本人が理解していないということもなく）良かったです。

・生徒↔学校↔保護者の距離が近いので、安心して通わせることができます。

・学校での共通目標として「あいさつ」に力を入れているおかげで、放課後や休日、登下校時も気持ちの良い元気なあいさつをしてくれる子がとても多い印象を受けました。コロナ禍で制限が多く暗い気分になりそうな時も活気にあふれた子どもたちの声に励まされています。ありがとうございます。

・家でも学校での様子をよく話してくれ、楽しい様子が伝わってきます。日々の熱心なご指導に感謝しています。

・社会科見学やネイチャーゲーム、自然観察のような授業の時はすごく楽しいみたいでたくさん話をしてきてくれます。

・コロナ対応の中、できる事も限られていますが、子どもたちへの熱心な働きかけ、とても感謝します。ありがとうございます。

・コロナウイルス対応をしっかり行ってくださり安心して朝送り出すことができています。ありがとうございます。まだまだ油断は出来ませんが家庭でも出来る事を行っていきたいと思います。

・コロナ禍の為仕方ないと思いますが、以前は集まって登校していたのが、今は１人で毎日登校しているのが心配な面もある。

・水筒を持って行っても全く飲んでいないことが多く本人は要らないと言っているが、強制的に持ってこないとダメな感じになっているようで、水筒持参を任意にしてもらえたらと思います。

・３年生以下の子どもが自転車でヘルメットもかぶらず乗り回しているのをよく見ます。４年生で自転車教室をやりますが、それ以外の学年の子にもマナーを教えた方がいいと思いました。

・旗当番以外の人への挨拶ができていないです。ゴミ出しの時で、少し離れていたので返事をしなくてもいいと思ったかもしれないが、無視をされたらこちらも気分が沈んでしまいます。ただ、「あいさつをしよう！」ではなく、「朝はウォーキングをしている人やゴミ出しをしている人にもあいさつをしよう！」という風にみんなで共有してほしいです。

・最近、外でゲームをする子をよく見かけるようになりました。ほぼ、４年生以上です。ゲームのルールはなくなったのでしょうか？公園内ならまだしも、ゲームをやりながら友だちと歩いている子もいて危険でした。車が見えていなかったので。自転車も同じくルールが守られておらず、車がいても後方確認せず道路を横切ってました。今年度は色々緩くなっていると感じました。

・外出時の子どもたちのマナーがあまり良くないように感じます。横断歩道の広がり、ボールをぶつけたりした時の対応、ゴミのポイ捨て等マナーを守れるようになって欲しいと思います。

・休校時にも対応できるようにしてほしい。（オンライン授業など）

・今年度のHPの学校だよりの更新やまちコミなどのお知らせが遅かったり、なかったりで不便を感じました。コロナ禍の中、大変であるのは承知ですが、どんな様子で過ごしているのかあまり伝わってこない１年な気がしました。

・旗振りで声掛けをし、振り返って手を振ってくれる子もいれば、目線をそらして無視する子など色々いました。挨拶はやっぱりしてほしいなと感じました。（学校だけでなく親の声掛け、育て方も大切）自分が優しくされたら嬉しい、心が温かくなると思うので、自分が優しくしたら相手も嬉しいし心が温かくなるよ、というのが分かってほしい子どもたちになって欲しいなと思います。

・先生によってダメなことと良いことがあるらしく、前年はよかったとか言っていることがあります。先生によって変わるのは子どもも混乱すると思うので統一してもらえたらと思います。